

「平成23年度公営企業予算編成過程の公開（平成22年11月1日現在の内容）」に対する市民意見の内容及び市の考え方

「平成23年度公営企業予算編成過程の公開（平成22年11月1日現在の内容）」に対し、貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。

いただいたご意見と、それに対する市の考え方（病院局分）を公表します。

なお、ご意見については、趣旨の類似するものはまとめさせていただいたほか、一部要約又は分割して掲載しておりますのでご了承ください。

1 募集期間 平成22年11月19日（金）から12月17日（金）

2 意見数 10件

3 性別 男性4件、女性6件

4 提出方法 ファックス9件、メール1件

5 意見の内訳

病院局

(1)新規・拡充事業（7件）

(2)その他（3件）

名古屋市病院局管理部経理課

病院局への意見に対する市の考え方について

(1) 新規・拡充事項

緑市民病院の指定管理者制度導入 7件

- ・ 緑市民病院の指定管理者募集条件を大幅に緩和するのはやめてください。
- ・ 診療科の減少、お産もできない病院になるのは困ります。
- ・ 従来どおり名古屋市営のままの緑市民病院を残してもらいたいと思います。
- ・ 大切な緑区唯一の公立病院が民営化されることに絶対反対であり、ましてや評判の悪い法人に移行するなど信じられません。
- ・ 公立病院は23万都市の緑区には必要であり、そういう要望のところに税金を投入すべきです。
- ・ 住民の命と暮らしを守るのは自治体として当然の重要な仕事ではないですか、地域で大切な緑市民病院をより充実させ、みんなが安心して利用できる病院として公立で続けてください。
- ・ 赤字だからと生命にかかわる病院を切りすてないでください。

(市の考え方)

緑市民病院につきましては、市内最大の人口を抱える緑区及びその周辺地域の医療ニーズに対応するため、これからも市立病院として必要であるという基本的な認識を持っております。

今後とも市立病院として地域密着型の総合的な病院の役割を継続し、医療を取り巻く環境の変化に柔軟に対応していくためには、指定管理者制度を導入し、民間の運営手法を活用することによって、救急医療の充実等による医療サービスの向上を図ることが必要であると考えております。

なお、深刻化しております医師不足に関しましては、市立大学病院への働きかけを強化するなど、引き続き医師の確保に努めてまいります。

(2) その他

守山市民病院について 2件

- ・ 守山には総合病院がなく、守山市民病院だけが頼りです。今でも段々と医者が減り、よその先生ばかり、休診の日も多く、市民の為の病院とは思えません。近所の人たちもいつもそのことで苦情を言っていますが、今以上に規模が小さくなることは守山に住んでいて、とても不安です。以前のようにどこの科もちゃんと診てもらえる病院にしてください。市民病院なのですから。
- ・ この前新聞では守山市民病院をまた見直すという事が書かれていました。もうこれ以上通院している患者に負担を与えないで下さい。足が悪いため今でさえタクシーに乗って通院せざるをえない老人に悲しい思いをさせないで下さい。玄関にバスを通して下さい。今のバス停では遠すぎて老人にはとても歩けません。病院を小さくしないで元のような良い病院に戻して下さい。手術もここで出来るようにして下さい。

(市の考え方)

市立病院では、医療機能の分担と連携による特色ある病院づくりに取り組んでおり、東部医療センター守山市民病院につきましては、東部医療センター東市民病院との連携に基づく高齢者にやさしい病院としての医療を提供しつつ、緩和ケア病棟を開設し、がん患者さんのQOL(生活の質)を重視した緩和ケア医療に取り組んでまいりました。

一方で、医師等の確保が非常に難しくなっており、ご指摘いただきましたように他の病院とも連携しながら診療体制を編成せざるを得ない大変厳しい状況にあります。また、患者さんの数が大幅に減少していることから、総務省の公立病院改革ガイドラインにより病院のあり方の抜本的な見直しを検討することが求められております。

そのため、今後は、市立病院としての役割、政策的意義等を踏まえ、市立病院全体の中で抜本的な見直しを検討していく必要があると考えております。

正規職員増 1件

介護、市民病院、看護師、保育に予算がもっと必要。臨職ばかりでなく、正規の職員をそれぞれの場で増やしてほしい。

(市の考え方)

委託化・嘱託化の推進などにより、効率的な職員配置を図るとともに、必要な部門での体制強化に努めてまいります。

※ご意見については、趣旨の類似するものはまとめさせていただいたほか、一部要約又は分割して掲載しております。